

## 1. 第 1 回幹事校ミーティング・全体ミーティング開催報告

大学 e ラーニング協議会事務局

今年度第 1 回幹事校ミーティング・全体ミーティングが 2011 年 9 月 8 日（木）に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催され、午前は幹事校ミーティング、午後から全体ミーティングを実施しました。

幹事校ミーティング（10:30～12:00）では、11 月 21 日（月）に開催される e-Learning Awards2011 公開フォーラムの内容について審議が行われたほか、次回の全体ミーティング、3 月の総会・フォーラム 2011 についての審議が行われました。

全体ミーティング（13:00～17:15）では、法政大学の事例紹介、大学高度教育基盤システムの紹介、協議会活動の今後の方向性提案、および e ラーニング活用事例調査アンケート集計中間報告などが行われました。

休憩をはさみ、各部会からの事例発表があり、参加者からの活発な議論がありました。

今回会場の準備等で法政大学の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。



幹事校ミーティング



全体ミーティング

## 2. 震災におけるアンケート調査について（中間報告）

e ラーニング活用事例調査委員会委員長  
帝塚山大学 中嶋 航一

9 月 1 日付けで加盟大学に依頼しておりました、震災支援におけるアンケート調査について、現在 11 大学から回答をいただいております。ご協力ありがとうございます。

今回のアンケートは、3 月 11 日の震災を機に大学高度教育基盤システムの運用にこぎつけ、今後さらなる活用を目指すために皆様からご意見をいただきました。

以下、その結果の概要をご報告いたします。

Q1 の講義コンテンツの提供については、多くの大学で、まだ講義を提供できる環境になっていないようです。

Q2 の Moodle を使ったクラウドサービス利用の可能性については、次のような回答でした。  
①学内システムの課題については、システムの利用率の低さや、運用・改善に費用と手間がかかること、②教材の準備については、アニメーションや数式、動画教材の作成などの準備が難しい、SCORM 対応、著作権処理等に問題があること、③クラウドにより利用したい教材は、リメデイアル系、自学自習の語学や資格系、入学前教育のための教材など、④クラウド経由の教材利用については、ユーザーの視点からは違和感はないと思われる、⑤クラウドサービスを利用する場合に必要な事項としては、情報セキュリティやサポート、多様な端末への対応、ネット帯域や安定性など、⑥クラウドサービスの利用法については、連携大学の講義ポータルサイトの役割、就職支援やユビキタス的利用の促進、学内システムの置き換えなど、⑦クラウドサービスの利用負担額については、1 ユーザーあたり 6,000 円程度、状況・条件次第という前提で月額 10 万円以下、年間 70-80 万円、100 万円以内、という回答でした。

Q3 のその他については、クラウド経由で講義登録学生の進捗や成績管理を希望する、安価なクラウドサービスが利用できるのであれば教員の利用はある、といった意見がありました。

引き続き、アンケート調査の回答をお待ちしておりますので、未回答の大学は是非ご協力をお願い申し上げます。

### 3. 大学 e ラーニング協議会公開フォーラム・第 2 回幹事校ミーティング開催報告

大学 e ラーニング協議会事務局

2011 年 11 月 21 日（月）に秋葉原 UDX において、“大学連携における e-learning の活用と教育の質保証への取組”をテーマとして、e-Learning Awards2011 内に併設する形式で、当協議会主催の公開フォーラムを開催しました。

本フォーラムには、企業や大学関係者など約 90 名の参加があり、熊本大学の司会進行のもと、関西大学、佐賀大学、信州大学および帝塚山大学から、特色のある e-learning の取組をご紹介いただきました。質疑応答では、参加者の皆様から活発な質問・意見があり、大変有意義なフォーラムとなりました。

翌 22 日（火）は同会場で、当協議会の第 2 回幹事校ミーティングを実施し、3 月 16 日に熊本大学で開催される総会・フォーラム 2011 についての審議や、今後の高度教育基盤システムについて、当協議会の今後の体制についての議論が行われました。



公開フォーラム事例発表



公開フォーラムディスカッション

### 4. 総会・フォーラム 2011（ご案内）

- 日 時 2012 年 3 月 16 日（金）午後
- 会 場 熊本大学 黒髪南地区（熊本市黒髪 2 丁目 39-1）
- テ ー マ: 学習者の意欲と達成感を引き出す e ラーニングの開発と運用

■趣 旨：eラーニングによる教育の提供において、従来型の教育と異なる特徴の一つは、「教える」というよりも「学ばせる」ためのツールや教材設計がしばしば取り上げられることであろう。eラーニングの成功の鍵はそこにあるとも言える。学習意欲、評価手法、進捗管理、学習成果物、LMS、教材開発、教育実践におけるeラーニング運用などをキーワードとして、より効果的に、より魅力的なeラーニングを提供するにはどうしたらよいかを考える契機にしたい。

■参加費 フォーラム 会員大学（賛助会員含む） 無料  
非会員大学（機関） 資料代込み 1人 1,000円

■懇親会 5,000円  
※フォーラム参加費・懇親会費は当日受付にてお支払い下さい。

■プログラム（時刻は変更されることがあります）

|             |  |
|-------------|--|
| 13:00～13:30 | 総会（会場：工学部百周年記念館）<br>※総会の出席は加盟大学のみとなります |
| 13:30～      | フォーラム（会場：工学部百周年記念館他）                   |

（会場：工学部百周年記念館）

13:30～ 会長挨拶、基調講演（講演者未定）等

（会場：工学部百周年記念館、工学部2号館211・212・214教室、総合情報基盤センター端末室）

14:30～ 個人研究発表・個別事例発表、ラウンドテーブル、部会報告等

19:00～ 懇親会（大学近辺）

※プログラムについては、現時点の案であり、当日変更される可能性があります。

※幹事校については、11:00～11:30で幹事校ミーティングを予定しております。

## 5. 事務局からのお知らせ・お願い

### ■「総会・フォーラム2011」における個人研究発表・個別事例発表の募集について

総会・フォーラム2011において、eラーニング実践に関する個人研究発表・個別事例発表を募集します。

当協議会では、以下の3つの部会及び2つの委員会を中心に活動を行っており、総会・フォーラムは、当協議会の一年間の活動のまとめと位置づけられています。

- ・第1部会：ユーザインターフェイスとシステム連携検討部会
- ・第2部会：ポートフォリオによる教育支援検討部会
- ・第3部会：教材共有検討部会
- ・eラーニング活用事例調査委員会
- ・広報委員会

個人研究発表・個別事例発表は、1人20分程度で、部会の報告とは異なり、所属大学のeラーニング実践の成功例、失敗例などをご紹介いただき、参加者間での問題点共有、意見交換等を通して、それぞれの取り組みの更なる発展へとつなげることを目的としています。

なお、参加される方々とeラーニング利用を促進するツールの活用方法や、会員校のeラーニング実践についての情報交換を行うラウンドテーブル等の開催も検討しています。

1. 募集期間：12月1日（木）～12月28日（水）
2. 募集要項：発表タイトル（40字以内）、発表内容要旨（200字以内）  
を下記提出先までメールでお送りください。
3. 応募先：大学eラーニング協議会  
代表幹事校 熊本大学 eラーニング推進機構  
喜多 敏博

e-mail: [uela2011@ield.kumamoto-u.ac.jp](mailto:uela2011@ield.kumamoto-u.ac.jp)

※なお、発表していただく方には、**1月31日（火）締め切り**で、総会・フォーラム当日配布予定の資料集用に原稿（A4で2枚～4枚）を提出していただきます。  
皆様の積極的な応募をお待ちしています。

### ■「総会・フォーラム 2011」における各大学eラーニング現況報告の提出について

11月22日（火）に開催した幹事校ミーティングにおいて、総会・フォーラム 2011で各大学のeラーニング実践の現況を加盟校の間で情報共有することが決まりました。つきましては、簡単な報告書を提出していただきますので、加盟校の皆さんは必ず提出をお願いいたします。

報告書のフォーマット及び提出期限につきましては、後日事務局からお知らせいたします。

### ■表彰のお知らせ

2011年9月8日（木）に開催された公益社団法人日本工学教育協会第59回年次大会（会場：北海道大学）において、eラーニング高等教育連携（eHELP：代表 長岡技術科学大学 福村好美教授）が工学教育賞（団体受賞）を受賞しました。

受賞の対象となった業績は、「ICTを活用した機関連携型技術者教育の実践－eラーニング高等教育連携（eHELP）の推進－」です。

eラーニング高等教育連携（eHELP）は、長岡技術科学大学が中心となり、大学と高専が連携して、新しい教育手法の研究・実践と検証を進めています。2011年度は、6大学17高専1機関が参加し、eラーニングによる大学・高専間の単位互換協定（4大学15高専）を締結して多岐にわたる正規科目を配信しています。



### ■皆様からの情報をお寄せ下さい

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上に掲載いたします。掲載を希望する大学は事務局までご連絡下さい。

また加盟大学の皆様が学会等で表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載いたしますので、情報がございましたら是非お寄せください。

## 大学eラーニング協議会ニューズレター NO.4 2011年12月1日 発行

事務局：千歳科学技術大学 教育連携推進課  
〒066-8655 北海道千歳市美々758番地65  
TEL: 0123-27-6044 FAX: 0123-27-6007  
URL: <http://www.uela.org/> E-mail: [uela-office@uela.org](mailto:uela-office@uela.org)